

12月自然観察サークルブログ



暖かい日差しを浴びて甘樫丘で観察会を行いました。クヌギやコナラの落ち葉を踏み踏み、枯れ葉の心地よい音を聞きながら歩きました。

今回の観察会ではドングリなどの木の实や落葉など、初冬の植物の様子を観察しました。キノコのツチグリや地衣類のコアカミゴケなどを見つけみんなで観察しました。

ツチグリ(ツチグリ科ツチグリ属のキノコ)

コアカミゴケ(ハナゴケ科ハナゴケ属の地衣類)



落葉(園路に多かった落葉 クヌギ・エノキなど)



アベマキの葉



クヌギの葉とアベマキの葉(裏)



別名コルククヌギとも呼ばれ、かつて樹皮からコルクの代用品が作られていたそうです。アベマキの葉はクヌギの葉に似ていますが葉裏には星状毛があり白っぽく見えます。

カシワ(ブナ科コナラ属)

カシワの葉は右写真のように落葉しないで枯れ葉が冬も枝に残っています。



ナラガシワ(ブナ科コナラ属)



ヤマコウバシ(クスノキ科クロモジ属)



ヤマコウバシの葉は冬も枯れ葉が枝に残ります。

実(ドングリ・ウバユリなど)

ウバユリ(ユリ科ウバユリ属)



実が割れて、中の種がたくさんきれいに重なって並んでいるのが見えます。レースのカーテンをかけているようです。

クヌギ(ブナ科コナラ属)のドングリ



スダジイ(ブナ科シイ属)のドングリ



イチイガシのドングリ



12月の定例会は暖かい日に恵まれ穏やかな一日でした。落ち葉の音も心地良かったです。12月ということもあってドングリがまだ木についているものはほとんどなくすっかり落ちてしまっていました。帽子のような殻斗はすっかりバラバラになっていました。スダジイのドングリもたくさんあるはずと思っていたのですが少ししか見つかりませんでした。イチイガシだけはドングリが落ちている最中のように、落ちていたドングリは殻斗もついていて状態の良いものばかりでした。ドングリ集めはもう少し早い方がいいようです。

今回の定例会も有意義で楽しいものになりました。